

日本史A

教 科	地理歴史科	単位数	2	学科・学年	全科 2年（選択）
使用教科書	現代の日本史 改訂版（山川出版社）				
副教材等	プロムナード日本史（浜島書店） 担当教員が配布するプリント				

「日本史A」はどんな科目？
 グローバル化する社会に暮らすこれからの若者にとって、日本に住む一員としてのアイデンティティをしっかりと持つためには「日本史」学習が必要不可欠です。
 近現代を中心に学び、日本と世界の大きなつながりを理解します。

「日本史A」の学習の特徴は？

- ① いろいろな社会の出来事に対する関心が高まります。
- ② 近現代を中心に学びますが、基盤となる古い時代も焦点を当てていきます。
- ③ 日本史を理解するためには、稲作と自然、文化、宗教観の理解が大切です。

「日本史A」で大切なこと（留意点）は？
 国際的なニュースが、いかに、近現代の日本史に深く関わっているか興味・関心を持って授業をうけること。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	4	近代以前の日本 古代から近世まで	日本文化の源泉を探る。
	5	近世の国際的環境 日本の変化 <中間考査>	近世・鎖国の誤解を解き、ヨーロッパとのつながりなどを学ぶ。
	6		
	7	近世以降の日本 開国と維新 <期末考査>	19世紀の国際社会と日本の立場を知る。
2 学 期	9	欧米と東アジアの政治情勢と 日清戦争 日露戦争	急速な発展と社会の変化、国際社会への参加と戦争について、世界史との関連を持たせながら考えさせる。
	10	1920年～30年代の世界と日本の経済 <中間考査>	
	11		
	12	二つの大戦と日本の戦後成長 <期末考査>	1920年代の日本の経済破綻を考えさせる。
3 学 期	1	55年体制から冷戦の終わりまで	戦後の経済成長と国際社会での役割について考えさせる。
	2	現在の日本の役割 <学年末考査>	

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	歴史的事象・人物に意欲的に関心を持ち、自ら調べようとする。
思考・判断	歴史的事象の因果関係を考察する。
資料活動の技能・表現	歴史的資料などから、当時の生活・人生観などを考える。
知識・理解	歴史を学ぶことにより、現代社会の矛盾や問題の原因を理解し、あるべき社会を築いてゆく。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ◆年5回の定期考査
- ◆授業プリント（内容と提出状況）
- ◆欠出席状況、学習活動への参加状況（授業への取り組み・授業中の発言内容など）

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

日本史Aは、現代の諸問題ととても密接です。しっかり学習して、国際社会の一員としての自覚をしっかりとってください。